

空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練について（要請）

4月26日、防衛省から、空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練について、硫黄島における天候等の事情により所要の訓練が実施できない場合には、厚木基地において訓練を行う可能性があるとの通告がありました。

厚木基地においては、昨年9月、空母艦載機による着陸訓練が実施され、深刻な騒音被害が発生しました。その際、我々は、二度と着陸訓練を厚木基地で行うことのないよう、強く要請したところです。

長年にわたり基地周辺住民が待ち望んできた空母艦載機移駐がようやく実現した直後に、万が一にも着陸訓練が実施され、昨年のような騒音被害がもたらされることは、基地負担軽減に向けた地元の期待を裏切るものであり、到底容認することはできません。

貴職におかれましては、訓練環境の整備、米側との調整等に万全を期し、天候等の事情に関わらず全ての空母艦載機着陸訓練を硫黄島で実施し、決して着陸訓練を厚木基地で行わないことを強く求めます。

平成30年4月27日

防衛大臣 小野寺五典 殿

神奈川県知事	黒岩祐治
大和市長	大木哲
綾瀬市長	古塩政由
相模原市長	加山俊夫
藤沢市長	鈴木恒夫
茅ヶ崎市長	服部信明
海老名市長	内野優
座間市長	遠藤三紀夫
横浜市長	林文子
町田市長	石阪丈一